



概要

当別町は、札幌市と境界を接し、札幌中心部から約15～25kmに位置しており、面積は、422.86平方キロメートル。人口(令和4年12月1日住民台帳)は、15,338人である。

○地域公共交通の現況

- ・JR札沼線(当別駅、太美駅、北海道医療大学駅、ロイズタウン駅)
- ・当別ふれあいバス
地域間幹線系統: あいの里金沢線
地域内フィーダー系統: 青山線、市街地予約型線、西当別道の駅線
- ・月形当別線

○地域公共交通の課題

- ・交通サービス維持のための財政負担や運転手不足
- ・移動需要の減少と高齢化
- ・利便性の高い公共交通サービスの提供

○調査の主な内容

- ・町民ニーズ調査(エリア別アンケート調査)

○地域公共交通活性化協議会開催状況

- 令和4年6月28日 第1回協議会を開催
主な協議事項: 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画他
- 令和4年10月10日 第2回協議会を開催
主な協議事項: 令和4年12月1日付けダイヤ改正について他
- 令和4年12月20日 第3回協議会を開催
主な協議事項: 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価他

公共交通の概要

当別町公共交通路線図(令和4年度)



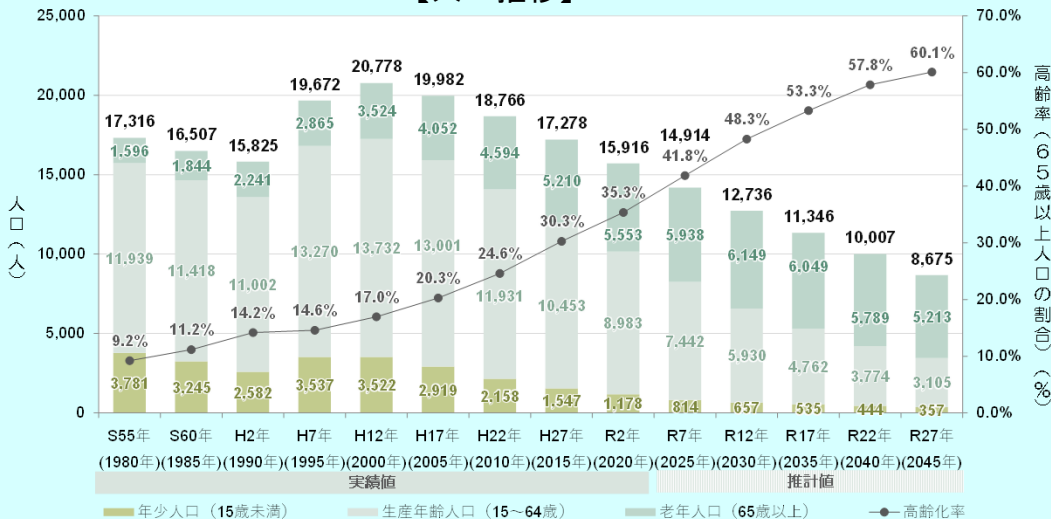
当別町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

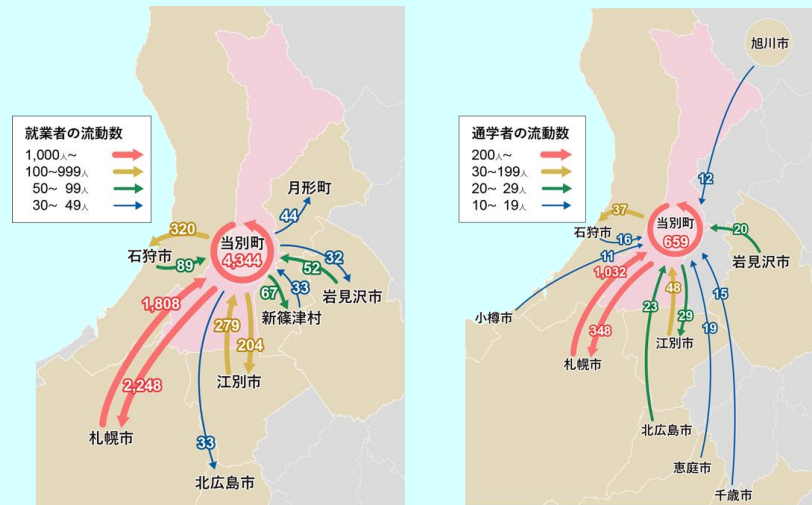
○概況整理

既存資料及び既存データの収集・整理、関係計画の整理、当別町内の輸送サービスの現況整理、GIS分析を行った。

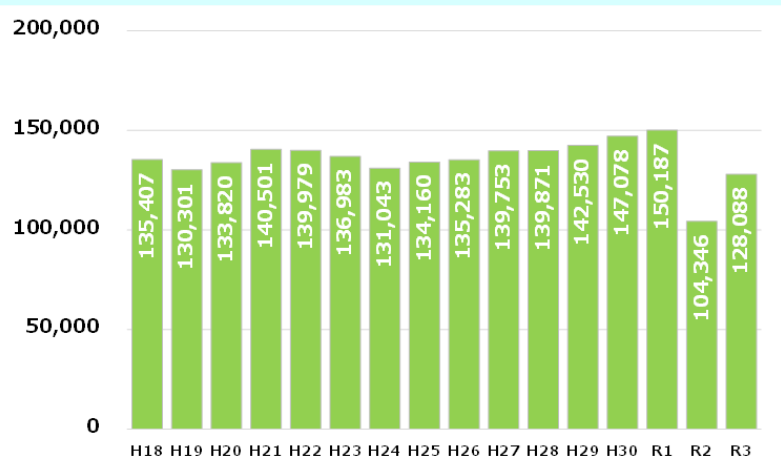
【人口推移】



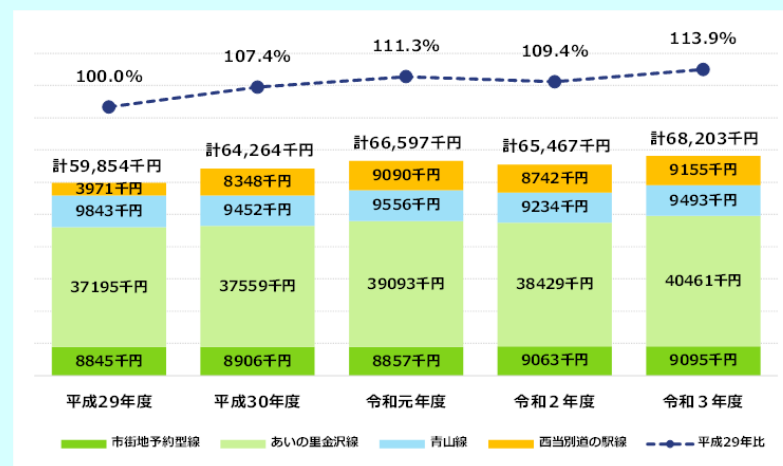
【地域間の流動】



【コミュニティバス利用者推移】



【コミュニティバス運行経費推移】



当別町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

○町民ニーズ調査(エリア別アンケート調査)

町内を3エリアに分けてそれぞれのエリアの状況に合わせた内容のアンケート調査を実施し、より詳細な町民ニーズを把握した。

【配布数・回収数】

	配布数	回収数	回収率
青山線エリア(重点)	278世帯	114件	41.0%
西当別エリア(重点)	1,061世帯	404件	38.1%
その他エリア	161世帯	88件	54.7%
	1,500世帯	606件	40.4%

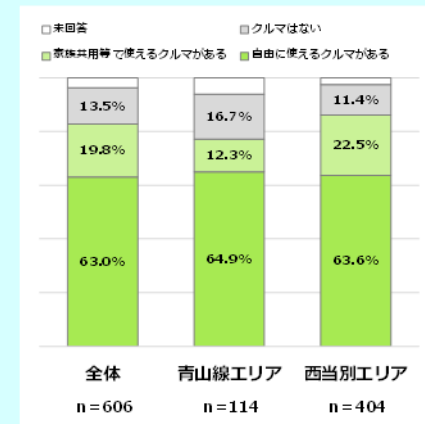
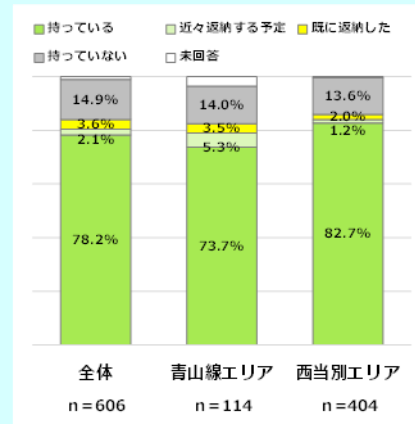
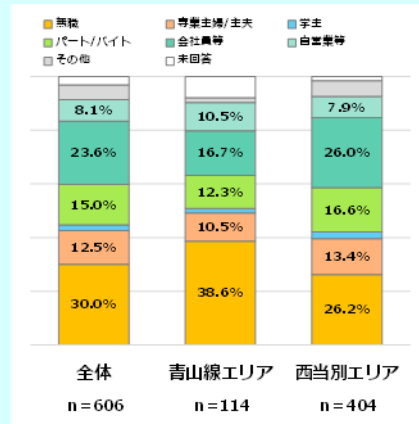
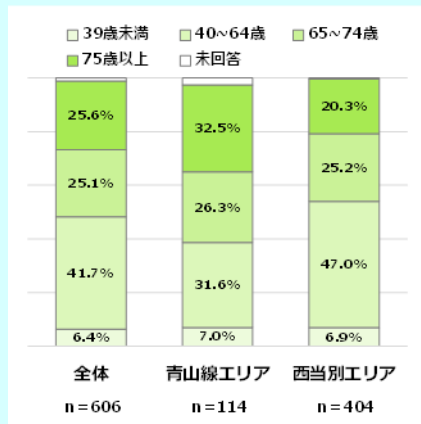
【青山線エリアの回答者属性の特徴】

- ・高齢化が顕著
- ・非就業者が多い
- ・免許および自家用車の無い人が比較的多い

【西当別エリアの回答者属性の特徴】

- ・現役世代が多い
- ・就業者が多い
- ・免許及び自家用車のある人が比較的多い

【回収者属性】



○地域公共交通計画素案作成

概況整理や調査の結果を基に分析を実施し、素案を作成中

○協議会の開催

素案完成後に協議会での検討を経て、持続可能な地域公共交通のための計画として最終的にとりまとめる。

当別町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

今後、調査結果を基に施策を検討し、素案を作成する。その後、パブリックコメントの実施及び協議会の検討を経て、令和4年度末に当別町地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。

●事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施されている。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄